

東京を拠点に、世界の音楽市場へ。 BMSG「Greeting & Gathering '24」開催報告書

2024年4月15日、株式会社 BMSG は、関係各社に向けたビジネスカンファレンス「Greeting & Gathering '24」（以下「G&G'24」）を開催しました。G&G は 2023 年に引き続き、2 度目の開催となります。

今回の G&G'24 の核となったのは代表取締役 CEO SKY-HI によるプレゼンテーションです。BMSG がこれまで日本の芸能界、音楽業界に対してどのようなことをしてきたか、そして今後のビジョンについて語った本プレゼンテーションの内容をまずはお届けします。



株式会社 BMSG 代表取締役 CEO SKY-HI

「才能を殺さないために。」

私は株式会社 BMSG を 2020 年に設立。そしてその前から 15 年ほど、現在に至るまで約 20 年間、音楽をする人間としてステージに立ってきました。しかしその道中でいくつもの課題に直面してきました。私は運よくファンや周りのサポートのおかげで現在まで活動することができていますが、「一步間違えれば……」ということは幾度もありましたし、事実、すごい才能を持ちながら活動を続けられないアーティストやアイドルを数多く横目に見てきました。

そして、この問題を解決すべく立ち上げた BMSG のスローガンが「才能を殺さないために。」

今期 4 周年を迎える BMSG が創業当時から掲げてきた言葉であり、全てのプロジェクトで一貫して大事にしていることです。これを前提として改めてお伝えさせていただきます。

「東京から、新しいカルチャーを世界へ発信する、機が熟した。」

今回の発表についてのキーテーマは「東京から、新しいカルチャーを世界へ発信する、機が熟した。」です。私一人で立ち上げたこの会社も、4周年を迎えるにあたってようやく世界に発信する準備ができました。

その核となるのは「TYOISM」（トウキョウイズム）。

これから私たちがカルチャーを創り、発信していくにあたり、アメリカナイズされたもの、韓国ナイズされたものではなく、東京独自の魅力、育んできたカルチャーをリスペクトし、継承する。その東京をフィーチャーすることがグローバリズムにつながる。BMSGらしい東京を起点とするグローバリズムを、「TYOISM（トウキョウイズム）」という言葉で表現したいと思います。

ここからは「B・M・S・G」それぞれの頭文字から始まるキーワードをテーマにお話していきます。

B—BASE

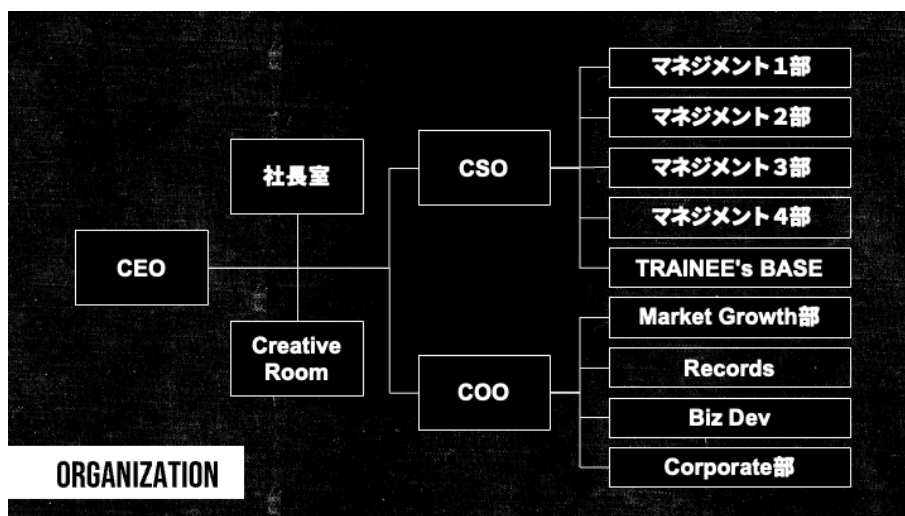
まずは「BASE」をテーマに、組織基盤についての話をさせてください。

2024年、BMSGは自社ビルを持ちます。昨今はオンラインの働き方が普及していますが、私たちは一つのところに集結できる場所が必要だと考えました。

アーティストは大きいスタジオで存分に練習する。レコーディングブースもある。皆が集まったときのレクリエーションスペースもある。また、アーティストからの強い要望で高機能サウナを設けました。

皆が集まれば何か生まれる。オフィスワーカー、アーティスト、プロデューサー——同じ船に乗っている仲間たちが、一つの場所に集まるための基地がある。これは大切なことだと思っています。ここが東京を拠点にカルチャーを世界へ発信する基地となります。

また創業当初は私1人だった社員も、現在は約50名へと成長しました。そこでCSOとCOOを配置し、ピラミッド型の組織へと変えていきました。



その中でも9つある部署の一つ、マネジメント部署についてご紹介させてください。アーティストの成長において、アーティストマネジメントは非常に重要です。BMSGではアーティストマネージャーのシ

STEMの再構築や育成にも注力しています。実際、デビューから2年4カ月のスピードで東京ドーム公演を成功させた BE:FIRST のチーフマネージャーは現在 26 歳。MAZZEL のチーフマネージャーも若手ですし、ソロアーティストについては他業種から転職してきたメンバーがマネジメントを行っています。

BMSG は創業当初から「芸能のルールより社会の常識」を大切にしています。芸能であっても社会と密接につながっていくのが、エンターテインメントのミッションであり、アーティストの仕事のうちのひとつ。まずはアーティストマネージャーがそこに強くコミットしてほしい。そんな思いから改革を進めています。

経営方針「HEALTHY & HONESTY」

経営方針は「HEALTHY & HONESTY」。モラル高く健康健全、全ての関係者に対して誠意をもつこと。至極真っ当な考えではありますが、音楽芸能業界においてはこれを掲げることが悲しくも革新的である――それが、現在の状況です。

とはいえ一般企業と比較して保守的な組織かという点、そうではありません。例えば、私たちは企業として数字だけを追うことを健全とは考えません。もちろん利益はとても大切ですが、数値化しにくいクリエイティビティにしっかり投資できる。およびアーティストの人的、社会的成長に目を向け、必要であれば投資を行っていい。これがアーティストをマネジメントするうえで健全な考え方だと BMSG は考えています。

例えば BE:FIRST。オーディション番組「THE FIRST」出身の彼らは、オーディション終了後からまずライブハウス、そしてホール、アリーナ、夏フェスへ参加し、一つ一つの公演を大切にしてきました。これの何が「HEALTHY & HONESTY」なのか。

ありがたいことに、「THE FIRST」というオーディション番組は非常に盛り上がりました。やろうと思えば最初からもっと大きな会場でライブをやったり、低コストで開催できるファンミーティングなどで、オーディション番組の熱を即時にビジネスリターンに変えることはできました。ただ、それがすなわちアーティストの成長や将来的な幸せにつながるかというと、懐疑的にならざるを得ません。

例えばあなたが3カ月後にいきなり東京ドームのステージ立つことを想像してみてください。観客は非常に多く、そして遠い。そこにいる一人ひとりの人間を、人間として認識するのが非常に難しいと思います。

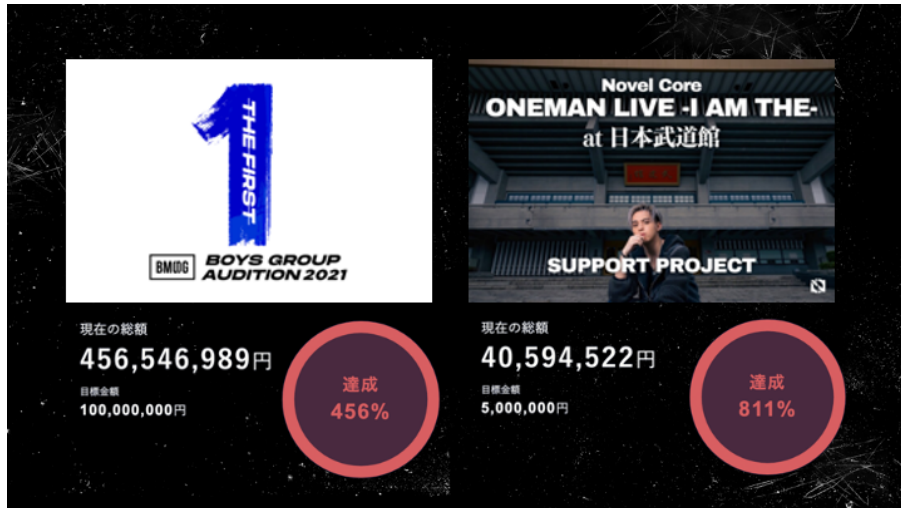
しかし100人であろうと10万人であろうと、一人ひとりが大切な時間やお金を費やして集まってきてくれていることに変わりはありません。このことがきちんと理解できる、実感できる状態でドームのステージに立ってほしいという思いがありました。

だから、まずは一人ひとりの顔が見えるライブハウスからスタート。イヤーマニターは使わずにモニタースピーカーの音を聞いて、その場の空気を感じてコミュニケーションを育んでいき、ライブハウスを熱狂させる。ホールではパフォーマンスとフィジカルを強化する。そしてアリーナで大規模なライブパフォーマンスをシミュレーションする。こうしたステップを経て、彼らがデビューからたった2年4カ月で立った東京ドーム公演は完璧なものになりました。

こうして、私のイメージする理想的な成長曲線を描くことができた BE:FIRST。そこにたどり着くまでの資金はどうしていったのでしょうか。

ここで「HEALTHY & HONESTY」。クラウドファンディングという形をとらせていただきました。「THE FIRST」は意志の純粋性を保ちたかったため、完全に自己資金で行いました。「自腹1億円」と報じられましたが、実際使ったのは1億4000万円。

株主という形で外部から資本を入れるという方法もありましたが、当時私はステークホルダーを増やすことが得策だと思いませんでした。熱量高く命を懸けてプロジェクトを遂行している自分が、このまま突っ走る以外に成功の道筋がみえなかったんです。なのでお金が無くなったとみなさんに正直にお伝えし、クラウドファンディングという形で資金調達を行いました。結果、集まった資金は約 4 億 6000 万円。



おかげで BE:FIRST はクリエイティブにしっかり投資することができました。質の高いクリエイティブを作ればリターンが来る。それでまた質の高いクリエイティブを作る……という循環を作ることに成功したのです。

そして、ワンマン東京武道館公演を実現した Novel Core。1 day の東京武道館公演は、実は収益的には非常に厳しいのが現実です。ただ本人にとっても BMSG にとっても、彼の集大成かつ今後のスタート地点として、絶対に成功させたいものでした。アーティストとしてやりたいことが非常にたくさんある。それならば彼がやりたい演出にすべて BET したいという思いがありました。

そこで、彼に対する信頼や期待を先にお金として頂いて、彼が思い描く理想のパフォーマンスを存分にやってもらうという趣旨でクラウドファンディングを実施。結果、目標に対して 811% の資金を集めることに成功し、彼のキャリアにとって最高の武道館公演を成功させることができました。

最後に、もうすぐデビュー 1 周年を迎える MAZZEL。この度念願のファーストアルバム「Parade」をリリースしました。BMSG は現在経済状況も良好なので、例えば多額の資金を使って hype (誇大宣伝) を起こす……みたいなことも可能だったかもしれません。しかし現在、こういった飾られた形でのプロモーションが成功につながる可能性はあまり高くないと考えています。それよりも素晴らしいバックボーンをメンバー一人ひとりが持っているので、彼らのクリエイティブ表現に対する意志を、そのまま世の中に提示することがプロモーションにつながると考えました。

夢を見せることはもちろん大事ですが、きれいな部分だけを切り取って見せることに対して、BMSG は懐疑的です。人間としての彼らにスポットが当たればおのずと面白く、リーチやエンゲージメントを自然にのぼすことができると信じ、ドキュメンタリー動画「Maze to Parade」を制作しました。その尺、なんと 80 分以上。

この映画並みのボリュームにも関わらず、YouTube では公開から 3 週間で 26 万再生超えを記録。実際にファーストアルバムは数字としても成功を取めることができたし、彼らのファーストツアーはチケットが争奪戦になるほどの人気となりました。

彼らの今後は間違いありません。この世の中を動かす大きな風のスタートは彼らの人間性である。このことを誇りに思います。

ちなみに「HEALTHY」で言うと、BMSG の社員は福利厚生として、ダンスレッスンを無料で受けることができます。レッスン後に行われる社内の懇親会には、私もよく参加しています。社員の、そして私自身の心の HEALTHY さを保つのに一役買っていると思います。

アーティストのマネジメント方針「BE CONSCIOUS」

アーティストは売れさえすれば良い、人気がありさえすれば良いとは思っていません。芸能は小さな子どもからお年寄りまで全ての世代に深くリーチし、生き方や価値観にまで影響を与える可能性がある仕事。その可能性の大きさや夢と責任、両方を感じてもらいたいと考えています。

だからといって社会規範にならなくてはならないというわけではありません。自分の周り、そしてその延長線上としての社会全体に対して、ポジティブな影響を与えられる存在でありたい。今日より明日、更には言えばもっと先の 100 年後が良い世の中であってほしい。そんなふうを考え、意識して行動する責任が、アーティストにはあると思っています。

HIPHOP カルチャーや、それに影響を受けたさまざまなアーティストが社会を良くしようと動き、実際に社会が変わっていった。そんな事例はたくさんあります。

私たちはアーティストを志し活動していくにあたって、社会を変えられる可能性を信じること、その一歩として社会に対して意識的になることを大切にしたいと考えています。

例えばオーディション番組「THE FIRST」にて、私は天才と言われた 13 歳の応募者を合宿審査の後に脱落させました。アーティストとしてのスキルは申し分ありませんでしたが、その反面、社会的な経験が足りていないと感じたからです。まだ 13 歳なのだから当たり前のことではありますが、アーティストとして世の中に出てしまうと、「若いから仕方ない」は通用しません。

アーティストはデビューすると、世の中に大きな影響を与える反面、非常にクローズドなコミュニティで生きていくこととなります。関わる人が限られ、社会を知る機会が失われてしまう。

13 歳の若さでデビューするよりも、長期的なキャリアや人生を考えて、学校に行ったり義務教育を受けたりすることが重要と考え、その考えを直接伝えました。彼は今トレニーとして BMSG に所属していますが、既にものすごい才能を発揮しています。

最後にご紹介するのが「#GoVote」プロジェクトです。社会に属する一員として選挙権を行使するのはどういうことかを、私から所属アーティストに話しました。その大切さを実感してくれたら、SNS で発信してほしいと。結果すべてのアーティストが発信してくれました。このように BMSG は、アーティストが積極的に社会に関わることを非常に大切に、奨励しています。

M—MASS APPEAL

ここでは、BMSG がこれまでの世の中に与えてきた影響の実績についていくつか紹介していきます。YouTube 再生数累計は、設立から 3 年で 10 億回超え。さらに BE:FIRST は 2023 年にリリースした「Mainstream」が主要音楽チャート 116 冠達成。そして TikTok において edhiii boi の「おともだち」が週間チャート 5 週連続 1 位を達成しました。街を歩いている 10 代の子たちが、皆この曲を知っていると云っても過言ではありません。

また BMSG FES'22 の開催にあたって、「新章突入」というコピーで渋谷をジャック。広告の配置された場所を地図上で繋ぎ合わせると、「9.17」という BMSG FES'22 の開催日が浮かび上がる仕掛けが反響を呼び、世界三大広告賞の「Clio Awards」から派生した「Clio Music」で3部門を受賞しています。

事務所横断型のダンス&ボーカルグループイベント「D.U.N.K. -DANCE UNIVERSE NEVER KILLED-」も好評を博しました。有明アリーナから規模を拡大し、幕張メッセ、京セラドームでも開催。異なる事務所に所属するボーイズグループは、仲良くしてはいけないような不文律が日本には存在していたので、こうした企画は実は初めてでした。D.U.N.K.に出たことを喜んでくれるアーティストが多かったことにもグッときました。

Bullmoose Records の立ち上げ



BMSG には音楽制作機能はあるものの、それを世の中に拡げていく機能をより強化するために、新たにレーベル「Bullmoose Records」を立ち上げました。所属アーティストは Aile The Shota、edhiii boi、そして BMSG POSSE (BMSG 所属のソロアーティスト・ユニット) です。ここに国内外のアーティストを招聘して、フィーチャリングしていきたいと思っています。

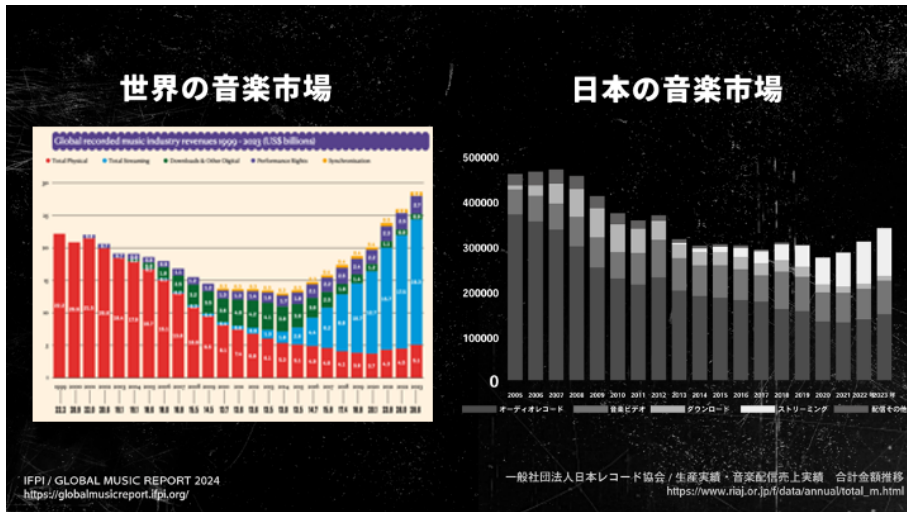
さらに、BMSG 所属以外のアーティストの独立支援も行っていこうと思っています。「事務所から独立したけれど、どう活動したら良いかわからない」「小さい規模で全部自分でやっていたんだけど、サポートがほしい」そんなアーティストのために、ファンクラブ、マーチャンダイズ、ライブ制作、原盤制作、場合によっては宣伝に至るまで、オーダーメイドの形で契約を結び、そのアーティストにあったプランを提示するというのを始めます。興味がある方はお問い合わせください。既に話を進めているアーティストもいらっしゃいます。

S—SUSTAINABLE

ここでは音楽業界を、持続不可能にしないための提言についてお話していきます。

まずは環境問題についてです。4/24 リリースの BE:FIRST ニューシングル「Masterplan」を紙ジャケットに変更。CD の製造段階からプラスチックの使用量を削減することから始めていきます。

そしてもう一つが、ビジネス構造についてです。日本の音楽業界は今、重大な欠陥に直面しています。



日本の音楽市場は、売上規模で言うと世界2位。だからといって好調ととらえるのは非常に危ないです。というのも、世界の音楽市場はインターネットによりビジネスモデルのチェンジを強いられました。そしてそれに成功することによって、CD に依存していたときよりも市場を大きくしています。それによりアーティストの世の中に対する影響力や存在感もどんどん増しています。

一方で日本の音楽市場は上のグラフをみてもわかるとおり、何十年前から売上構成比率が変わっていません。最近やっとストリーミングの割合が増えてきましたが、世界と比較するとまだまだ物足りない。

CD ビジネスに依存した結果とどういうことが起こるか。例えばアイドルグループやアイドル的人気を博すアーティストと同じビジネスモデルで音楽を作っている方々。マネタイズを CD に依存しているから、レコード会社からするとどうやって売っていったら良いかわからない。

CD はみんなそんなに聴かなくなっていますが、手元においておけるグッズとしては優れていて、我々も気合を入れて良いものをつくっています。

ただ買うことが応援につながるとファンの方々に思い込ませて、その純粋な気持ちを搾取する形でビジネスモデルが確立してしまっていて、舵が切れなくなっていることが問題です。氷山に向かっているタイタニック号の状態です。

アーティストが消費されたり搾取されるのが嫌で BMSG を設立しましたが、それは全てのアーティストやアイドルのファンの方々にも同じことを感じています。

G—GROWING

新ガールズグループオーディション「No No Girls」

ここで、新オーディションプロジェクトについて発表します。プロデューサーにちゃんみなを迎え、「No No Girls」というガールズグループのオーディションを開催します。もちろん目的としては「才能を殺さないために。」。現行の日本の芸能のシステムだと輝く場所を見つけられない。そういった才能の持ち主は女の子にもたくさんいました。とんでもない才能の持ち主が応募してくださっています。オーディションは進んでおり、2024 年中にデビュー予定です。間違いなく時代を動かす、歴史を変えるグループが誕生すると思います。

TRAINEE の育成制度

そして、TRAINEE の育成についてもご紹介させていただきます。

1. SYSTEMATIC⇒DIALOGIC

正解を探すのではなく、正解を創れる人になってほしい。「画一的、均質的なのがアイドルとして美しい」「アーティストだからこうあらねばならない」と決めつけるのではなくて、誰もが持つ個性を見つけるという作業を手伝って、磨いていくということをしていきたいと考えています。

2. AMATEUR⇒PREPARED

彼らはアマチュアではなく、既に準備ができているという状態にしたい。だから楽曲はリリースするしライブにも出ます。既に BMSG からデビューしているアーティストと肩を並べて、バックダンサーとしてではなくアーティストとしてパフォーマンスしますが、既に存在感がすごい。

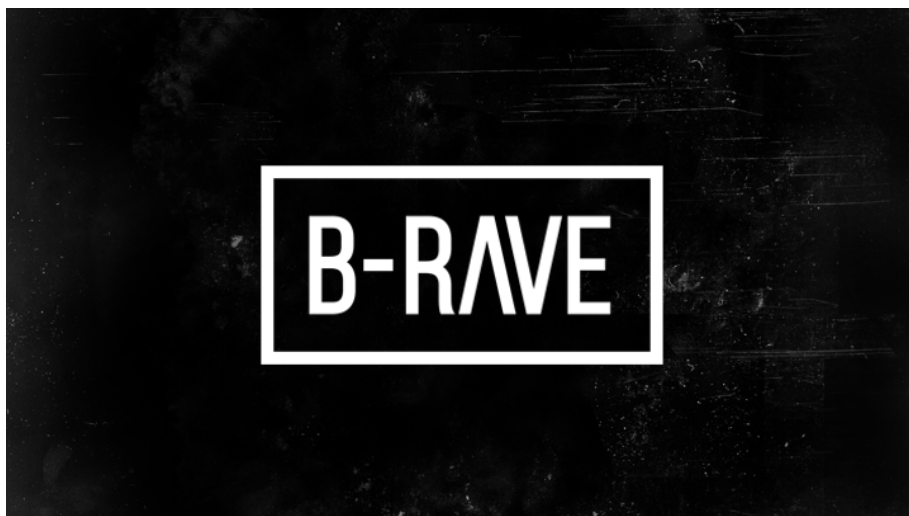
BE:FIRST の SOTA によるダンスレッスンも行っています。月に1回程度ですが、トレーニーの彼らからしたらロールモデルから直接レッスンしてもらえる。成功している仲間のすばらしい部分をシェアしてもらえるのは良いことです。自分の未来を具体的にイメージしやすくなりますし、何より楽しいです。音楽って楽しいなと思える現場をつくることに、BMSG は非常に意欲的です。

③AI⇒HUMANENESS

彼らはアーティストである以前に人間です。音楽を作る機械でもないし夢を追う装置でもない。私たちもそうです。だから人間としての成長のために、お金と時間を投資して、様々な教育や研修を行っています。

例えば高校受験を迎えるトレーニーを対象に、家庭教師を招いて夏期講習を実施しました。JICA の職員の方を招き、世界で活躍するための心構え、意識の話をしていただいたほか、金融リテラシー講座も実施。BMSG はアーティストとの対等な契約を心掛けており、彼らは年齢に対して大きな金額を若い段階で手にしているため、こうしたサポートも重要です。他にも礼儀作法研修や薬物乱用防止セミナー、英語レッスン、希望者には韓国語レッスン、ジェンダー論研修など、様々行っています。

B-RAVE



そしてこの度、BMSG の傘下に一つの組織を立ち上げました。「No No Girls」からデビューしたグループは、新組織「B-RAVE」に所属して活動予定です。BMSG とは少しカラーの異なるブランディング

をしていく予定です。せっかく立ち上げた組織なので、No No Girls 以外の展開も、今後あり得るかもしれません。ご期待ください。

以上、B・M・S・G を頭文字に「BASE」「MASS APPEAL」「SUSTAINABLE」「GROWING」についてお話させていただきました。

最後に改めて、「TYOISM」。2024 年、私たちはようやく、東京から世界へカルチャーを発信する準備ができました。

ぜひ、みなさんとカルチャー作りから一緒にできたらと思っています。

プレゼンテーションの後は BMSG 所属アーティストたちによるショーケース、そして懇親会を開催。ショーケースでは、公開前のトレーニーのパフォーマンスも初披露しました。懇親会には SKY-HI や所属アーティストも参加し、ゲストの皆様との会話を楽しみながら親睦を深めることができました。

新プロジェクトが数多く発表された今回の G&G'24。BMSG はこの G&G'24 を皮切りに、「TYOISM」をコンセプトに据えて世界の音楽市場へと進出するべく、本格的なスタートを切ります。

全ては、「才能を殺さないために。」、ぜひ今後の展開にご注目ください。



BMSG アーティスト 集合写真